



安武校区
上野いきいきサロン

安武校区では、校区社会福祉協議会とふれあいの会、各自治会が協力して8か所で「いきいきサロン」が開催されています。今回はそのひとつである「上野いきいきサロン」を紹介します。

このサロンは、上野公民館にご近所の人が集まり、和気あいあいとした雰囲気の中で、楽しいひとときを過ごされています。

ふれあい・いきいきサロン活動とは、身近な小地域（自治会等）を単位として、高齢者や障害者、児童など地域住民とボランティアが一緒に企画し、運営する「仲間づくり」「健康の維持・増進」「生きがいづくり」を進めるための活動です。市内には、こうしたサロンと呼ばれる「集いの場」が260か所以上あります。

身近なところでいいことたくさん
校区社会福祉協議会の福祉活動
—ふれあい・いきいきサロン—

この日は、ふれあいの会の人たちがおでんなどの手料理を振舞われていました。みんなで食事をすると、自然に話が弾み、笑顔があふれます。話が弾む中で、生活をする上での困りごとや不安、悩みも話されます。ふれあいの会では、このような困りごと等を地域の課題として把握され、支援につながられています。

また、このサロンの様子を一枚の紙にまとめられ、地域の人たちにもっと多く参加していただけるようお知らせされるなど、サロンの充実を図るために工夫がなされていました。



シリーズ **地域包括ケアシステムの構築にむけて⑥**

住み慣れた地域でいつまでも ～まちづくりは福祉から～

合川校区では、平成28年8月より、校区まちづくり運営協議会や校区社会福祉協議会など様々なコミュニティ組織の参画のもと、「支え合い推進会議」を設置し試行錯誤をしながら実施しています。今回は合川校区まちづくり運営協議会の中島会長に「福祉のまちづくり」や「支え合い推進会議」についての思いを伺いました。



支え合い推進会議について

合川校区まちづくり運営協議会 会長 なかしま ゆきお 中島 幸男さん

日本は現在、これまで経験したことがない超高齢社会を迎えています。この急テンポで進む高齢化に対して、どのように向き合い対処していくかが、大きな社会問題になっています。

人と人がつながり、共に支え合う「共生社会」の実現が求められている中、地域で高齢者等、さまざまな生活課題を抱えた人を支えるためには、地域の住民が課題を一緒に考え、対策を協議し活動に広げて、その効果を見極めることが大切です。

これまで4回の「支え合い推進会議」を開催し、時にはグループワークを実践して活発な協議を重ねてきました。こうした協議を通じて、今後の「支え合い推進会議」の在り方によりやく方向性が見え始めたところです。先々、この支え合いの活動に、地域の若い人たちにも関心の目を向けていただき、会議に参加してもらうことが望ましいと考えています。

これからの社会福祉は、地域住民の理解と活動への参加が重要になってきます。校区が一丸となって、「支え合い推進会議」のさらなる発展に向け取り組んでまいります。



グループワーク

※支え合い推進会議…地域で福祉やまちづくりに取組む様々な人々が参加し、地域で困っている人に気づき、支え合う仕組みづくりについて協議する場のこと。久留米市では平成32年度までに全46校区に設置することを目指しています。